

第9期

【平成29年10月1日～平成30年9月30日】

事業計画書

公益社団法人 誕生学協会

目次

1. はじめに

2. 正会員数

3. 公益目的事業 (定款第4条-①及び②、⑤)

- ・公益目的事業1 「誕生学」プログラムの開発・研究・保護・普及事業

- ・公益目的事業2 (定款第4条-④)

学校に対する「誕生学」プログラムの講師の実施支援事業

- ・公益目的事業3 (定款第4条-⑥)

「誕生学」に関する広報及び出版事業

4. 収益事業 (定款第4条-③)

- ・収益事業1 誕生学アドバイザーの育成、審査、並びに講師のスキル維持及び向上を目的とした育成事業

- ・収益事業2 誕生学プログラム普及に関する他団体との協働事業 (定款第4条-⑨)

5. その他事業 (定款第4条-⑦)

1. はじめに

【当協会のミッション】

生きる力、産む力、いのちを繋ぐ力を高める

- ・生まれてくる命と育てていくいのちの双方にやさしく、人間的な「誕生」に関する知識の普及を行う。
- ・「出産＝女性のからだの営み」という狭義の認識から、普遍的な経験である「誕生」という視点に広げ、各世代の添ったアプローチを展開し、生命観と自尊感情の向上を啓発する活動を行う。
- ・誕生学を伝える講師（誕生学アドバイザー等）の技能を審査・認定し、認定後も継続的に再現性と汎用性のあるプログラムを実施できる人材を育成し、不特定多数の利益となる公益活動を行う。
- ・学校や行政等を中心とした誕生学の講座、セミナー活動を通し、子供から保護者等大人の健全育成を図り、虐待防止、望まぬ妊娠の防止や少子化対策及び次世代育成対策の活動を行う。

2. 正会員数

<平成 29 年 9 月末日現在>

講師会員	232	名
一般会員	5	名
休会会員	50	名
<u>合計</u>	<u>287</u>	<u>名</u>

3：公益目的事業

・公益目的事業1 「誕生学」プログラムの開発・研究・保護・普及事業

公1-1 開発研究事業

公1-1-① プログラム研究事業

講師会員のより精度の高い再現性ある誕生学プログラム開講のために、プログラム委員会を実施し、年度ごとに更新すべきシナリオや教材を検討します。

(1) 誕生学スタンダードプログラム パワポ開講上映開始

2017年4月にシナリオが見直しされた本プログラムは、これまで実物の大型教材を使ってゲスト授業を実施してきたが、9期からは、大型の実施会場でも子ども達が見やすいように、スライド上映と採り入れることとする。パワーポイント教材の制作を行い、9期の11月頃よりパワポのスライドショーによる授業をスタートする。

(2) 環境省連携プログラム「人のいのち、地球のいのち」の実施

環境省の「つなげよう、支えよう、森里川海」プロジェクトと協働したプログラムを開発し、主に小学校を中心に、導入を推進する。

人のいのちは自然界の一部であり、地球環境保護は、人の健康にも直結していることを、「人のいのち、地球のいのち」として、幅広く子ども達に伝えその大切さを実感してもらうことを目的とし、またゲスト授業の新しい機会創出につなげる。

10月中に完成予定。※講師への研修は無料にて実施する。

※先行実施：11月～相模女子大学附属中学校3年生に、「デザインフォーチェンジ」WS活用により実施予定。

公1-1-② 調査事業

受講前受講後のエビデンス調査、アンケート実施による調査をこれまでより厚く実施し、効果測定を測る。

集計後は、学識者に尺度設計を依頼し、小学生と中学生への効果に関してエビデンス調査を実施予定。

(1) ガールズエンパワメントプロジェクト

中高生向け「ガールズ&ボーイズ」プログラムでは、実施可能な学校すべてに、生徒全員に受講前、受講後にアンケート実施を継続して行い、その効果測定を行う。

効果については随時公開していく。

公1-2 保護事業

公1-2-①- (1) 学校開講 計画・報告管理システム構築、実施事業

8期より開始した、協会に学校より授業を直接申込みいただく新システムを9期も継続し、すべてのゲスト授業の実施把握を推進する。

またこれまで、講師が直接依頼を受けた授業を協会に報告する窓口を廃止し、ホーム

ページ上に設置した「誕生学スクールプログラム 申込フォーム」に一元化を計る。
(すでに実施中)
また退会後にプログラム著作権侵害となっている講師が出た場合には対応する。

公1-2-①- (2) 学校でのゲスト授業の実施集計システム構築、 月次の分析、開講方法管理

9期も継続して、実施状況は2か月に一度程度集計し、ホームページの実施報告ページに公表していく。

公1-2-② 学校第三者評価事業

ゲスト授業を依頼された学校や依頼者には、すべて第三者評価アンケートの提出を依頼し、確実に回収、集計、効果測定を計る。
意見や感想などは集約し、各種広報物等に公表し、ゲスト授業の普及に活かしていく。

公1-3 普及事業

公1-3-① 社会貢献事業

①-① ガールズ&ボーイズプログラム無償授業実施事業

9期中 100校 3万人目標

平成29年4月より30年3月まで、日本郵便㈱の年賀寄附助成をいただいている。3月までの残り期間に継続して広報推進活動を行い、100校実施の目標達成を目指す。また、秋以降新しく助成金を申請し、受理できた場合は平成30年4月以降も引き続き実施をしていくこととし、年間で100校程度の実施を目指す。

助成金以外にも、個人投資家や経営者層に地元子ども達への実施を促すための寄附(「ガールズセーフシティ」ファンド)を募る。

※授業実施と共に、特別教材冊子「ガールズエンパワメントブック」も配布する。

※随時活動はリリースしていく。

①-② 誕生学スクールプログラム授業受託事業

全国600校(回)実施目標

8期に協会が依頼された学校数は約430校であった。9期は、されに誕生学スクールプログラムの広報普及に努め、600校(回)の実施を目標に活動する。

※秋以降、助成金を新規に申請し、予算のない学校で、次回につなげるお試し開講のために、講師代などを補助できるような予算の確保にも挑戦する。

①-③ 児童養護施設への誕生学 無償授業実施事業

平成28年9月より開始した東京都福祉保健財団の東京子育て応援事業助成金による無償授業実施(全1年半事業)を平成30年3月まで継続する。

期間終了までに、東京都内の全施設での実施を目途にさらに広報活動に努める。

①-④ 性被害予防リーフレット「大切なあなたへ」無償配布事業

平成 29 年 4 月より平成 30 年 3 月まで、全日本社会貢献機構より助成をいただいている。全国統一の緊急連絡先を記載した全国版が 8 期末に完成したので、3 月まで、全国の小中学校にできる限り配布を続け事業を完成させる。

※平成 30 年 4 月以降も無償配布ができるように、新規の助成金にも挑戦する。

①-⑤性被害予防のためのweb検定サイト開設

8 期の「ガールズエンパワメントプロジェクト」と、「性被害予防リーフレット「大切なあなたへ」無償配布事業」の中に一部予算化していた、子ども達のための[性被害予防アプリ]を、webサイト[性被害予防検定(仮称)]に変更して、この事業の協働団体である、[NPO法人しあわせなみだ]さんと十分に協議し、予算を出し合い、制作、開設し、効果的な普及につながるWEBサイトを目指す。

①-⑥ こころとカラダの母と子向け講座事業

平成 30 年 4 月以降助成開始の東京都福祉保健財団の新規助成金に応募し、実施を想定。中高生、大学生、社会人から妊娠出産世代、親世代まで、女子男子問わず、さまざまな性や心、カラダに関する講座を定期開催し、中高生、未来の母となる社会人、出産を控えたカップル、子どもへの性に関する接し方を知らない親世代が抱えるさまざまな悩みの受け皿や相談窓口となる支援の場づくりを 1 年間継続して行う。

①-⑦ 被災地支援事業

8 期に行った熊本地震の際の被災地支援者支援活動のように、不測の事態が発生した場合は、募金事務局として募金活動を行い、被災地にお渡しする。

公 1-3-② 行政事業

②-①

○東淀川区業務委託 <「いのちと性」の教育事業>

区内の全小学校と中学校からの依頼により実施。(2018 年 3 月末迄 約 40 校予定)

※2018 年 4 月からの受託は 3 月に受託申請予定。

②-② 少年院・女子少年院プロジェクト

北海少年院など毎年依頼のある院では継続して実施させていただく。またその他全国の少年院にも広報し、実施を目指す。

公 1-3-③ 一般向け事業

③-①こども未来塾

8 期に引き続き、講師向けのさまざまな講義および、ガールズワンパワメントプロジ

エクトの性被害予防フォーラムなどを「こども未来塾」に位置づけ、できるだけ多く実施し、一般の方に子ども達の性と心、カラダの問題について知ってもらう機会を創出する。

公2 実施支援事業

公2-1① 正会員向け 研究会フォーラム

ガールズエンパワメントプロジェクトの講師向けプログラム研修会や、講師の資質を育てる「セルフマスタリー研修」「メンター研修」ほか、各種テーマにて、講師のスキルアップ、モチベーションアップにつながる勉強会を実施する。

公2-1② 講師活動支援事業

②-①講師のスキルの確保のために、2年に一度行う更新審査を8期中にできなかった講師向けで、9期も年間通じて引き続き行う。

更新審査会を東京、大阪等で適宜実施し、それに参加してもらうか、自分のゲスト授業のようすをビデオに撮影して送付、のいずれかにて参加を必須とし、技量水準の一定化を推進する。

②-②「いのちってスゴイ」イベント助成

全国各地で行う際には、助成金の提供および、備品を貸し出すなどフォローする。

②-③エリア活性助成金

エリア会の実施を促し、エリア会を実施するエリアには、申告のあったエリアに活動助成金を拠出する。

②-④エリア会の実施

理事が地方エリアに出張し、更新審査を兼ねて、講師同志が交流できるエリア会をできるだけ多く実施する。エリア内の講師間の悩みや相談を共有し解決にあたる。

公3 出版事業

公3-1-① ホームページ事業

①-①平成29年度「子どもゆめ基金助成」等に応募し、子どもたちの心と身体、性を守るための情報を掲載したWEBページを制作する（予定）

タイトル案：子ども性と心の相談室（仮称）

内容：いのちのつながり、性を守る、デートDV、ピアプレッシャー、LGBT、性犯罪実態、支援団体、緊急連絡先等

※NPO法人しあわせなみださんとの協働事業「性被害予防検定」も盛り込むか合体させる。

※HP製作の際撮影したインタビューなどの映像は、学校等でも映像教材としても活用する。

公3-1-② 出版事業

②-① 「人のいのち、地球のいのち」かるた制作事業

クラウドファンディングまたは寄付により、家庭や児童館、学童クラブ、学校で活用できる子ども用かるたを製作する。

コンセプトは、9 期に開設する新プログラム「人のいのち、地球のいのち」に関連した自然環境と人のいのちにフォーカスした内容で制作する。(10 月以降実施)

イラストは、プロボノ、公募により集める。(候補：美術大学等) ことばは、制作委員会を設置し制作予定。また環境省さんへ、本事業への後援を依頼する。

完成したら、一般販売するとともに、一部を児童養護施設や児童会などに寄附をする。

②-② ニュースレターの発行 年2回(春・秋予定)

誕生学スクールプログラムの実施状況や講師、学校へのインタビュー記事、協会の最新ニュースやトピックなどを掲載した広報誌を編集発行し、学校や企業、会員、マスコミなどに広報物としてリリースし活用する。

②-③ 助成金により、ガールズエンパワメントブック(冊子教材)の増刷、および改訂版を作製し、無償配布を続ける。

②-④ その他家で活用する、性の健康絵本(仮)なども今後に向けて構想する。

4: 収益目的事業

・収益事業1 誕生学アドバイザーの育成、審査、並びに講師のスキル維持及び向上を目的とした育成事業

(1) 誕生学アドバイザー 認定審査事業

○新育成研修[基礎知識編][技能編]をすべて終了した者は、東京、大阪(予定)にて年4回程度実施される認定試験を受験いただく。

一定以上の成績者を、誕生学アドバイザーとして認定する。

年間受験者数想定 50名

(2) スキルアップ研修事業

小学校3,4年生向けの「スタンダード誕生学」の資格を得た講師が、さらに多様な学年と対象、目的のためにゲスト授業が実施できるように、各種プログラム実施資格を得られるスキルアップ研修を[ライブ講義]または[eラーニング]にて年間通して実施

する。

講座名（※EL= e-ラーニング）	実施予定回数	参加想定 人数
スクール講師活動準備講座	4	50
二次性徴期の誕生学	1	10
幼児と低学年のための誕生学	1	10
新・中学3年生のための誕生学	1	10
高校生のための誕生学	1	10
ガールズエンパワーメント開講技能	1	10
大学生のための誕生学	1	10
母と娘のための月経教室(サロンプログラム)	1	10
母のための男子からだ教室(サロンプログラム)	1	10
誕生学スクールプログラム説明会	1	10
児童養護誕生施設 リービングケアプログラム	1	10
養護教諭向け誕生学説明会	1	10
中高生のための誕生学ワークショップ	2	20
保護者向け誕生学講演会	2	20
EL スクール講師活動準備講座	4	10
EL 二次性徴期の誕生学	6	20
EL 幼児と低学年のための誕生学	6	20
EL 新・中学3年生のための誕生学	12	30
EL 高校生のための誕生学	12	30
EL ガールズエンパワーメント開講技能	12	30
EL 大学生のための誕生学	4	10
EL 母と娘のための月経教室(サロンプログラム)	5	20
EL 母のための男子からだ教室(サロンプログラム)	5	20
EL 誕生学スクールプログラム説明会	6	20
EL 児童養護施設 リービングケアプログラム	2	20
EL 養護教諭向け誕生学説明会	5	15
EL 中高生のための誕生学ワークショップ	5	20
EL ガールズエンパワーメント基礎講座	12	30
EL 誕生学とリプロダクティブヘルス	4	10
EL 大葉ナナコの誕生学	1	10
EL 大葉ナナコの保護者向け講演会	1	10
EL 大葉ナナコの新中三のための誕生学	1	10

(3) 新育成研修

8期より予定していた講師育成のための新研修制度は、

- (1) 各分野の専門家による講義映像とテキストで自宅で学ぶ [基礎知識編]

(2) 講師になるための実技を学ぶライブ研修[技能編]

以上の二段階方式にて9期より開講する。

このうち、映像とテキストで学ぶ〔基礎知識編〕教材のみの購入も可能とし、子ども達の性に関する事柄や心と身体の健康について学びたい人が自由に学べる教材としてさまざまな方に活用いただくものを目指す。

また講師を目指人にとっては、研修の一部を在宅にての学習にすることで、研修への参加負担を軽減し、地方在住の人にも、育成研修に参加しやすくすることで、誕生学アドバイザーの増加に努めると共に、知識研修を終了した後に、はじめて、協会への入会審査を行い、学校での開講のためのスキルを学ぶライブ研修に進むシステムにより、より不特定多数の子ども達への利益供与に寄与する確かな実力と意志のある人材の育成を目指す。

◎新育成研修〔基礎知識編〕 予定講師

斎藤學（精神科医）

早乙女智子（産婦人科医）

近藤卓（心理学博士）

伊藤加奈子（産婦人科医）

石澤芳子（内科医）

大葉ナナコ（誕生学協会代表）

※この他テキストのみの講師もあり。

※尚、カリキュラム内容は年度ごとに見直しを計り、より良い教材を目指す。

◎学習内容

①上記講師による映像教材とテキスト教材を自宅で学習。

②各講義のレポートまたはテストを提出。

③レポートおよび確認テストの一定以上の成績者に受講認定証を授与する。

④基礎知識編履修者で、さらに講師を目指す人は、誕生学協会に入会いただき、技能編に進む。

⑤[技能編]は、年4回程東京、大阪（予定）にて開講される計3日間のライブ研修に参加してもらい、レポートを適宜提出する。

(4) 研修用教材の販売事業

育成研修参加者に必要とされる、人形等の必須教材や、ビデオ教材を販売する。

・収益事業2 誕生学プログラム普及に関する他団体との協働事業（定款第4条-⑨）

9期は特になし。

5：その他事業

(1) 広報活動

ホームページや facebook 等の web 媒体やチラシ等紙媒体を使い、広報活動を積極的に実施。

- アニュアルレポートの発行 年1回 (決算後に発行)
寄付活動、助成金事業など 8 期の活動を紹介した報告書を制作し、企業や賛助会員募集の際のツールおよび協会の広報物として活用する。
- ホームページの更新、ニュース投稿、トップページイメージの刷新
- インスタ、TWITTER
- facebook ページの活用
- 教育関係の団体 facebook への投稿
- マスコミへのリリース発信
- 教育関連雑誌等への取材推進

(2) 関連団体主催イベント等への参加

子ども支援団体や、ガールズプロジェクト関連団体のイベント、新プログラムや関連勉強会等へ、積極的に参加し、協働活動の推進、相互支援の関係を構築する。

- ◎児童養護施設 自立支援委員会
- ◎NPO法人 しあわせなみだ主催イベント
- ◎ビリーブ 性犯罪 刑法改正プロジェクトイベント
- ◎環境省「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトイベント
- ◎ 同 マザーアースプロジェクトイベント
ほか

以上